

令和4年11月6日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 第4回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞） 受賞者の決定と表彰式開催について

JST（理事長 橋本 和仁）は、第4回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）の受賞者を決定しました（別紙1）。表彰式は、令和4年11月6日（日）に日本科学未来館で開催します。

JSTはダイバーシティを推進する取り組みのなかで、女性研究者の活躍を推進しています。日本では研究者に占める女性の割合がいまだに低く、研究開発プログラムなどへの女性研究者の参画も少ない状況にあります。そこで令和元年度、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究などを行っている女性研究者、および女性研究者の活躍を推進している機関を表彰する輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）を創設しました。

第4回となる本年度は令和4年4月1日から6月30日までの期間に募集し、外部有識者からなる選考委員会による審査を経て（別紙2）、輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）1名、輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）1機関の受賞者を決定しました。

また、同選考委員会において輝く女性研究者賞に肩を並べるような応募者が他にもいたことから、輝く女性研究者賞（科学技術振興機構理事長賞）1名の受賞者を決定しました。

表彰式では、受賞者を当日発表し、JSTから各受賞者に賞状と賞牌を授与するほか、輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者には副賞として芦田基金<sup>※</sup>から賞金100万円が贈られます。また、受賞者、高校生、および大島 まり JSTダイバーシティ推進監などによるトークセッション（ファシリテーター：鳥居 啓子 選考委員長）も行います。

<第4回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）表彰式・トークセッション>

日時：令和4年11月6日（日）午後1時00分～午後3時15分

会場：日本科学未来館（東京都江東区青海2-3-6）7F未来館ホール

※）芦田基金は、平成6年にデザイナーの故 芦田 淳 氏が、青少年育成を目的として公益社団法人科学技術国際交流センター（JISTEC）に寄附し設立された基金です。

### <添付資料>

別紙1：第4回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者

別紙2：輝く女性研究者賞選考委員会 委員一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 科学技術イノベーション人材育成部 ダイバーシティ推進室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

長田 直樹（ナガタ ナオキ）

Tel : 03-5214-8443

E-mail : diversity[at]jst.go.jp

## 第4回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）受賞者

（敬称略）

## ○輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）

JSTから賞状および賞牌を授与。副賞として芦田基金から賞金100万円を贈呈。

戸田 安香（トダ ヤスカ） 明治大学 農学部 農芸化学科 食品機能化学研究室 特任講師

## ＜専門分野＞

食品機能化学

## ＜経歴＞

2007年 キッコーマン株式会社 研究開発本部 研究員

（2010年～2016年は東京大学に出向）

2017年 明治大学 農学部 研究員

2018年 日本学術振興会 特別研究員（PD）（2021年3月まで）

2021年 明治大学 農学部 農芸化学科 食品機能化学研究室 特任講師

## ＜受賞理由＞

戸田氏は、味覚受容体のうち、特に旨味受容体の高感度機能評価法を開発し、鳥類や、霊長類における旨味受容体の分子進化を追究し、味覚分子論研究で世界を牽引している。甘味受容体遺伝子を失った鳥類の一部が、旨味受容体を使って花蜜など甘い食物を検出するようになったメカニズム、霊長類の旨味受容体が進化の過程でその感受性を変化させるプロセス、旨味成分がヒトの食嗜好性に寄与する特殊なメカニズムなど、独創的でスケールの大きな成果は特筆に値する。

研究以外の社会貢献においても、多くのシンポジウムなどでの講演を積極的に行うほか、海外の科学ドキュメンタリー番組の制作に協力するなど、国内外への情報発信を熱心に行っている。

## ○輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン アシダ賞）

JSTから賞状および賞牌を授与。

東北大学（総長 大野 英男）

## ＜受賞理由＞

東北大学は、「サイエンス・エンジェル制度」（現サイエンス・アンバサダー制度）により女子中高生の理系進学を促進をするほか、全学としても女性教職員の積極採用や上位職登用、女性研究者の育成支援、無意識のバイアス払拭の啓発など、早い段階からの継続した取り組みにより、女性教員比率や博士課程の女性比率の向上などの成果を上げている。

また、女性研究者の活躍推進に向けた国内外の大学との連携、各種データを公開・発信するなど、総じて他機関のモデルになり得る。

### ○輝く女性研究者賞（科学技術振興機構理事長賞）

JSTから賞状および賞牌を授与。

杉原 加織（スギハラ カオリ） 東京大学 生産技術研究所 講師

#### <専門分野>

生物物理工学

#### <経歴>

2008年 スイス連邦工科大学チューリッヒ校 博士課程  
2012年 マックスプランク研究所 ポスドク研究員  
2014年 ジュネーブ大学 テニユアトラック助教  
2020年 東京大学 生産技術研究所 物質・環境系部門 講師

#### <受賞理由>

杉原氏は、細胞膜を構成する脂質を中心にナノ材料分野において顕著な成果を上げながら、近年では抗菌効果を持つペプチドや医療用不織布マスクについても研究対象を広げている。基礎研究のみならず、商品開発プロジェクトを立ち上げ、多数の外部資金の研究リーダーを務めるなど、チャレンジ精神に満ち溢れた幅広い研究活動を行っている。

研究以外の社会貢献においても、欧州で研究室を主催してきた自身の経験を生かしたキャリアパスに関する講演や、所属機関の女子中高生向けイベントの開催など積極的な活動を行っている。

## 輝く女性研究者賞選考委員会 委員一覧

(敬称略、委員は五十音順)

## (委員長)

鳥居 啓子	テキサス大学オースティン校 ジョンソン・エンド・ジョンソン センテニアル冠教授、ハワードヒューズ医学研究所 正研究員
-------	--

## (委員)

阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル 執行役員 兼 インド現地法人 取締役会長
上田 修功	理化学研究所 革新知能統合研究センター 副センター長、NTTコミュニケーション科学基礎研究所 NTTフェロー・上田特別研究室長
大草 芳江	特定非営利活動法人natural science 理事、有限会社FIELD AND NETWORK 取締役
北川 宏	京都大学 大学院理学研究科 教授・副プロボスト
所 千晴	早稲田大学 理工学術院創造理工学部 教授、東京大学 大学院工学系研究科 システム創成学専攻 教授
村山 斉	カリフォルニア大学バークレー校 MacAdams冠教授、東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 特別教授
柳沢 正史	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 機構長

(令和4年10月28日現在)